

令和3年度 当初予算

一般会計 歳入歳出 **20億8,270万円**

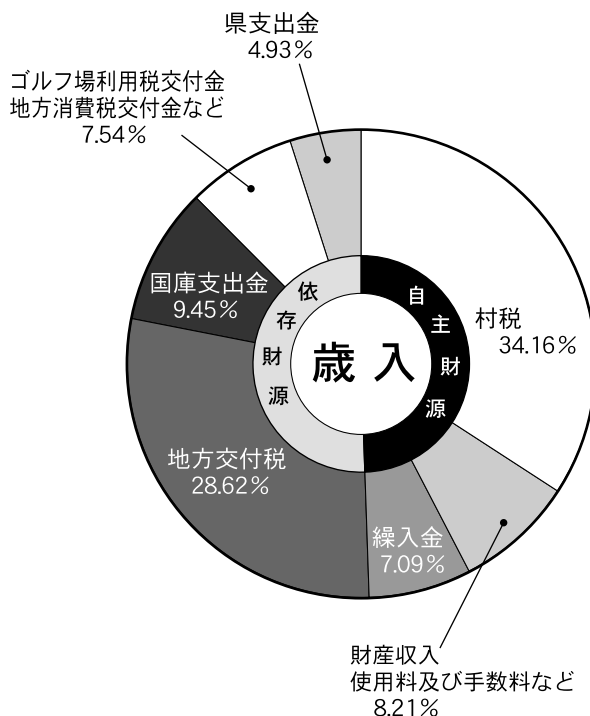
(対前年度 5,396万9千円、2.66%の増)

歳入

項 目	予 算 額
自主財源 49.46%	10億3,008万2千円
村 税	7億1,147万6千円
繰入金	1億4,774万4千円
財産収入	5,105万6千円
繰越金	5,000万円
諸収入	2,923万7千円
使用料及び手数料	2,265万円
寄附金	1,554万円
分担金及び負担金	237万9千円
依存財源 50.54%	10億5,261万8千円
地方交付税	5億9,612万3千円
国庫支出金	1億9,672万5千円
県支出金	1億265万6千円
地方消費税交付金	7,353万円
ゴルフ場利用税交付金	4,331万8千円
地方譲与税	2,835万6千円
地方特例交付金	347万2千円
環境性能割交付金	204万8千円
株式等譲渡所得割交付金	200万円
法人事業税交付金	200万円
配当割交付金	149万円
交通安全対策特別交付金	60万円
利子割交付金	30万円
歳入合計	20億8,270万円

自主財源…市町村が自主的に収入しうる財源

依存財源…地方交付税、国・県支出金、各種交付金、地方債など、その額と内容が国の施策によって左右される財源



歳入

一般会計歳入予算の概要

自主財源全体では総額10億3,008万2千円で、前年度比△13.7%、1億6,354万9千円の減となりました。

村税収入については、若干増加の傾向にありましたが、昨年からの新型コロナウイルスの世界的な流行により、世界経済は甚大な打撃を受け、戦後最悪の景気後退と言われており、この影響から、前年度比約1割の減収が見込まれます。

基金からの繰入金については、ふるさと応援寄附基金595万2千円を活用し各種事業へ充当を行うほか、森林環境譲与税基金285万4千円を活用し民有林の森林管理へ向けた準備を行い、歳入不足に対する財源として、財政調整基金から1億3,893万8千円を繰り

入れるものです。

依存財源全体では、総額10億5,261万8千円で、前年度比26.05%、2億1,751万8千円の増となりました。

地方交付税については、収入全体の28.62%を占め、財源を交付税に依存しているところでもあります。今後、交付税については減少することが予測され、自主財源の確保が求められています。

今年度については大幅な財源不足が危惧されるなか、不急の支出を抑え、新型コロナ対策に備えるとともに、可能な限り、国庫支出金及び県支出金などの有利な補助金を積極的に確保したうえでの予算編成を行いました。

性質別歳出

義務的経費

義務的経費とは、地方自治体の一般歳出のうち、支出することが制度的に義務づけられている経費のことをいいます。具体的には人件費、扶助費及び公債費の3つから成っています。義務的経費については、前年度比1.63%、1,252万4千円の増となっています。

投資的経費

投資的経費とは、道路や施設の建設等、支出の効果が将来に残る社会資本の整備に要する経費で、具体的には普通建設事業費等をいいます。普通建設事業費のうち、補助事業費は国の補助金である社会資本整備総合交付金を活用した道の駅なるさわ浄化槽改修工事などで、前年度比107.6%、5,573万円の増で、単独事業については村道改良事業などで、前年度比△19.85%、3,330万4千円の減となっています。

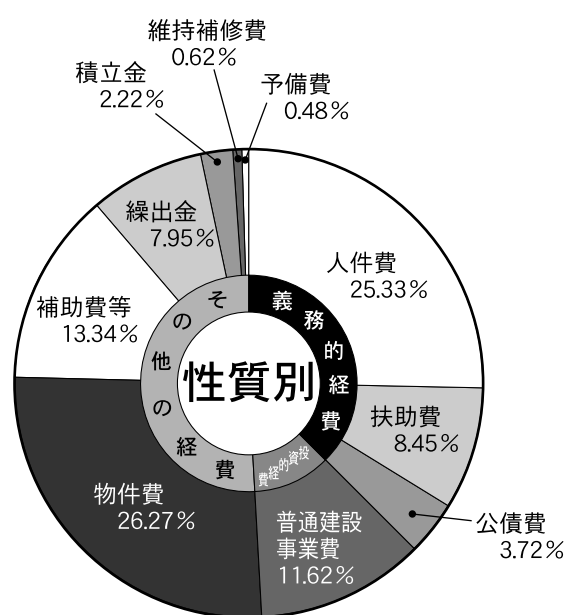


その他の経費

その他の経費については、前年度比1.83%、1,901万9千円の増となりました。このうち、繰出金については各特別会計への繰出金の増額などから、前年度比9.41%、1,423万2千円の増となっています。

性質別歳出

項目	予算額
義務的経費 37.50%	7億8,091万1千円
人件費	5億2,752万円
扶助費	1億7,591万7千円
公債費	7,747万4千円
投資的経費 11.62%	2億4,203万円
うち普通建設事業費	2億4,203万円
うち補助事業費	1億752万2千円
うち単独事業費	1億3,450万8千円
その他の経費 50.88%	10億5,975万9千円
物件費	5億4,718万1千円
維持補修費	1,289万3千円
補助費等	2億7,790万5千円
積立金	4,623万3千円
繰出金	1億6,554万7千円
予備費	1,000万円
歳出合計	20億8,270万円



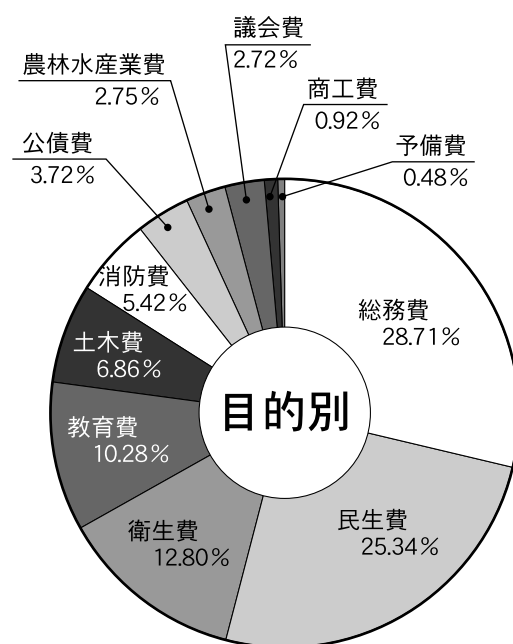
目的別歳出

目的別歳出のうち主な増減については、総務費について、道の駅なるさわ浄化槽改修工事などにより、前年度比20.13%、1億20万円の増、衛生費について、新型コロナウイルスワクチン予防接種事業などにより、前年度比17.89%、4,045万6千円の増、商工費については、東海自然歩道一本木ポケット公園整備工

事の完了などにより、前年度比△33.3%、953万4千円の減、土木費については、村道改良工事の減などにより、前年度比△17.59%、3,048万6千円の減、教育費については、ロードレース大会実施事業の中止などにより、前年度比△12.5%、3,057万7千円の減となっています。

目的別歳出

項目	予算額
議会費	5,668万4千円
総務費	5億9,804万1千円
民生費	5億2,782万2千円
衛生費	2億6,653万6千円
農林水産業費	5,736万4千円
商工費	1,909万9千円
土木費	1億4,285万9千円
消防費	1億1,280万2千円
教育費	2億1,401万9千円
公債費	7,747万4千円
予備費	1,000万円
歳出合計	20億8,270万円



特別会計予算 8億6,703万8千円

(対前年度 5,413万円の増)

令和3年度鳴沢村国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、介護予防支援事業、後期高齢者医療の各特別会計の当初予算額は総額8億6,703万8千円で、前年度比6.66%、5,413万円の増となっています。

特別会計名	予算額	対前年度増減率
国民健康保険	4億545万6千円	1.27%
簡易水道事業	9,477万6千円	6.82%
介護保険	3億1,431万円	14.10%
介護予防支援事業	375万9千円	292.79%
後期高齢者医療	4,873万7千円	2.87%
合計	8億6,703万8千円	6.66%

目的別歳出の主な事業

議会費

5,668万4千円

議員報酬や議会活動に使われます。

【主な事業】

議会運営事業
総額 3,830万円



総務費

5億9,804万1千円

総務管理のほか、税務・企画・戸籍・選挙・統計・交通安全などに使われます。

【主な事業】

道の駅なるさわ運営事業 総額 1億499万5千円
鳴沢いきやりの湯運営事業 総額 2,994万4千円
地域情報通信基盤整備推進事業 総額 2,260万6千円

民生費

5億2,782万2千円

安定した社会保障を行うため、福祉・年金・児童手当・保育所などに使われます。

【主な事業】

自立支援給付助成事業 総額 8,254万5千円
児童手当支給事業 総額 4,348万円
保育所運営事業 総額 2,629万円



衛生費

2億6,653万6千円

生活環境の整備、住民健診などに使われます。

【主な事業】

ごみのないまちづくり推進事業 総額 6,862万4千円
新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 総額 3,695万1千円
環境整備事業 総額 1,782万8千円

農林水産業費

5,736万4千円

農業委員会・農林業振興などに使われます。

【主な事業】

県有地転貸事業 総額 817万9千円
有害鳥獣対策事業 総額 732万3千円
農業振興事業 総額 526万1千円



商工費

1,909万9千円

商工・観光振興などに使われます。

【主な事業】

観光振興事業 総額 456万3千円
商工振興事業 総額 265万4千円
富士山世界文化遺産保存活用推進事業 総額 119万8千円



土木費

1億4,285万9千円

村道の改良・維持管理や生活基盤の整備などに使われます。

【主な事業】

村道改良事業 総額 6,135万9千円
村道維持補修事業 総額 1,816万9千円
村道除雪事業 総額 1,796万8千円

消防費

1億1,280万2千円

消防施設の整備や常備消防運営費・村消防団活動などに使われます。

【主な事業】

広域行政事務組合消防本部運営事業 総額 8,823万8千円
消防団運営事業 総額 946万3千円
消防施設等整備・管理事業 総額 749万8千円



教育費

2億1,401万9千円

教育委員会、小学校、中学校、社会教育、社会体育などに使われます。

【主な事業】

河口湖南中学校管理運営費 総額 4,559万1千円
学校給食運営事業 総額 2,954万5千円
小学校教育振興費 総額 1,408万円



公債費

7,747万4千円

公共施設などのために過年に借り入れた起債の償還に使われます。